

2007~ MINI-BASKETBALL

ミニバスケットボール

競技規則



財団法人日本バスケットボール協会



ミニバスケットボール 競技規則

財団法人日本バスケットボール協会

まえがき

この競技規則書の願いは、ミニバスケットボール競技が「友情・ほほえみ・フェアプレイの精神」によって行われることにあります。ミニバスケットボールは子どもたちのために考案されたバスケットボールのゲームです。子どもたちにとって面白いもの、楽しいものであり、将来もバスケットボールをしてみたいと思う動機になったり、スポーツに接する喜びが感じられるようなものでなければなりません。

そのため、ボールは一般のものより小さいものを使用し、バスケットの高さも低くなっています。規則もできる限り簡易にし、条文も少なくなっています。

したがって、この規則書に書かれている規則だけではゲーム中に起こりうるすべての状況を網羅できるものではありません。このような場合にはミニバスケットボールの「友情・ほほえみ・フェアプレイの精神」に照らし合わせ適切に処置してほしいと願っています。

定められた基本的な規則には必ず従わなければなりません。規則をあまりに厳しく適用しすぎて子どもたちを押しさえつけてしまったり、子どもたちが尻ごみしてしまうようなことがあっては子どもたちはゲームを楽しめません。子どもたちに規則を尊重することを教えるのは必要なことですが、罰則を恐れて規則を尊重するのではなく、規則を守って正しい技術を身につけたいという気持ちから規則を尊重するように指導しなければなりません。すべてのミニバスケットボールの指導者はこのことを心にとめて、厳格になりすぎないように子どもたちを指導し、監督してほしいと思います。

ゲームで勝敗を競うのは子どもたちにとって非常に魅力的なことではありますが、何が何でも勝つという考え方を子どもたちに教え込んではいけないのです。ミニバスケットボールの活動を通じてフェア・プレイの精神を養うことこそが大切です。

そして、必要な厳格さと寛大さを併せ持ち、広い視野に立って規則を理解し、子どもたちが何を身につけるべきかを考えてほしいと思います。

この競技規則書はわかりやすいイラストとともにミニバスケットボールの初心者から経験豊かな指導者を始め、多くの方々に競技の約束ごとの理解を深めてもらうために作成されたものです。規則を正しく理解することによって、スポーツをする喜びや楽しさを知ってほしいと願っています。

目 次

まえがき	3	第6章 プレイの規定	34
第1章 ゲーム	6	第23条 出場と交代	
第1条 ゲームの定義		第24条 タイム・アウト	
第2条 ゲームの目的		第25条 ボールの扱い方	
第2章 施設、器具	7	第26条 ボールの保持	
第3条 コート		第27条 プレイヤーと審判の位置	
第4条 境界線とコート内のライン		第28条 アウト・オブ・バウンズ（アウトと略す）	
第5条 バックボード		第29条 ボールをアウトにすること	
第6条 バスケット		第30条 ボールを持って進行すること	
第7条 ボール		第31条 ビヴォット	
第8条 ゲーム器具		第32条 ドリブル	
第3章 審判とテーブル・オフィシャルズ	14	第33条 ヘルド・ボール	
第9条 審判		第34条 ショットの動作中のプレイヤー	
第10条 スコアラー、アシスタント・スコアラー		第35条 3秒ルール	
第11条 タイマー		第36条 近接してディフェンスされたプレイヤー	
第12条 30秒オベレイター		第37条 30秒ルール	
第4章 チーム	20	第7章 規則違反と罰則	46
第13条 構成		第38条 ヴァイオレーション	
第14条 コーチ		第39条 ファウル	
第15条 ユニフォーム		第40条 スロー・インの方法	
第5章 ゲームの進め方	22	第41条 フリースローの方法	
第16条 競技時間		第42条 フリースローのヴァイオレーションと罰則	
第17条 ゲームの開始		第8章 行為についての規定	54
第18条 ジャンプ・ボール		第43条 テクニカル・ファウルの原則	
第19条 ゴールと点数		第44条 パーソナル・ファウル	
第20条 ゴール・テンディングとバスケット・インタフェア		第45条 ダブル・ファウル	
第21条 同点と延長		第46条 アンスポーツマンライク・ファウル	
第22条 ゲームの終わり		第47条 プレイヤーの5回のファウル	
		第48条 チーム・ファウル	
		審判の合図	78
		スコアシートの記入法	84
		テーブル・オフィシャルズの合図	91
		解 説	92

第1章 ゲーム

第1条 ゲームの定義

ミニバスケットボールは少年・少女のためにつくられたバスケットボール競技であり、年齢が12才以下のプレイヤー（小学生を対象とする）によって競技が行われる。

第2条 ゲームの目的

ミニバスケットボールのゲームは5人ずつのプレイヤーからなる2チームによって行われる。

1チームが攻撃するバスケットを相手チームのバスケットといい、相手チームの攻撃から守るバスケットを自チームのバスケットという。

各チームの目的は、競技規則にきめられた範囲で、相手チームのバスケットにボールを投げ入れて得点することと相手チームにボールを持たせたり得点させたりしないようにすることである。

第1、2条

ゲームの参加者は年齢12才以下の小学生とする。指導者（コーチも審判も）は年少の初心者と年長者との間には体力、技術の差があることを考慮に入れて規則を適用する必要がある。しかし、ミニバスケットボールにおける年長者への移行期にあって、すぐれた競技のできるプレイヤーに対しては厳格に規則を適用すべきである。

第2章 施設、器具

第3条 コート

コートの大きさは縦28m～22m、横15m～12mとし、縦・横の長さの釣り合いがとれたコートを使用する。

第4条 境界線とコート内のライン

コートに次の境界線とそのほかのラインを描く。

サイド・ライン
エンド・ライン
センター・サークル
センター・ライン
フリースロー・ライン
フリースローを行う半円
フリースロー・ラインの両端からエンドラインを結んだライン

フリースロー・ラインはバックボードから4mのところを描く。

この長さにはラインの幅を含む。

すべての線は幅5cmとし、はっきりわかるように引く。